



境港商工会議所女性会

〒684-8686 境港市上道町3002

(境港商工会議所内)

TEL 44-1111・FAX 42-6577

似鳥会長が記念講演

札幌で全商女性連全国大会

第49回全国商工会議所女性会連合会(全商女性連)の全国大会が10月6日から7日までの2日間、北海道立総合体育センター(札幌市)で開催され、全国各地から約2700人の会員が参集。当女性会からは8人が参加しました。



境港らしさを前面に出して参加者にアピールする当会会員

大会では、藤沢薫・全商女性連会長が「全国416女性会、約2万2000人の会員を抱える女性経営者団体の一人として連携を深め、女性の柔軟かつ大胆な発想で、地域を元気にしましょう」とあいさつ。私もその思いを強くしました。大会終了後は、(株)ニトリホールディングス会長の似鳥昭雄氏を招き、おねだん以上、ニトリの成長秘話」をテーマに記念講演。ニトリは、国内451

ひとことPRタイム

境港商工会議所女性会の会員が自己紹介するこのコーナー。今回は、木村真理子さんと酒井美智子さんのお二人に登場していただきました。

木村真理子 (きむら・まりこ)
(株)きらさき
(境港市馬場崎町)

〈事業所のあらまし〉

1954(昭和29)年、写真好きだった父が中町の片隅に「きらさきカメラ」を立ち上げ、間もなく今の水木しげるロードの一角に20坪の店をオ

ブン。1983(昭和58)年に馬場崎町に移転し、今に至ります。1967(昭和42年)に法人化し、今年創立50周年を迎えました。先代からは「商売がやれるのは、一に会社を支える従業員、二に商品に分けてくれる仕入れ先、三に得意先のおかげだ」と教え

られた。一番に会社を支えてくれる従業員をはじめ、感謝の気持ちを大切に、これからもまことに邁進したいと思えます。私に比べて、かけがいのない宝です。私たち女性会は、異業種の人、幅広い年齢の皆さんと交流することで、見聞を深めてお互いに成長し、学んでいる良い場であると思っています。

〈OWNER〉

私が最も大切にしているのは「人の和」です。日々色々な場面での出会う皆さんとの交わりは、私にとって、かけがいのない宝です。私たち女性会は、異業種の人、幅広い年齢の皆さんと交流することで、見聞を深めてお互いに成長し、学んでいる良い場であると思っています。

創立60周年を迎え 記念式典を開催

— 米子商議所女性会 —

東京商工会議所女性会に次いで、全国で2番目に創立した米子商工会議所女性会は創立60周年記念式典を10月10日、米子コンベンションセンター(米子市)で開催。当女性会からは、正副会長の

店舗と台湾、中国、米国に50店舗を構える一大家具チェーンです。勉強ができない、ケンカも弱い、いじめられっ子で、どうしようもない落ちこぼれだったという似鳥会長は、あきらめず

に努力を続けることや強い信念を持つことの大切さを強調。特に、「今の私があるのも、ニトリがあるのも妻のおかげだと思っています。ニトリの成功は、内助の功」なくては話せ



講演する原晋監督

4人が出席しました。当日は、全国商工会議所女性会連合会の鈴木康代副会長をはじめ、全国各地の女性会会員や米子商工会議所役員、各種団体の皆様などが一堂に集って祝福。主催者あいさつでは、米子女性会の野津寛美会長が会の成り立ちや先輩

山陰アシックスと圓流院を訪問 施設見学並びに会員親睦会

商工会議所女性会は9月14日、施設見学並びに会員親睦レクリエーションを開催しました。経営代理店などを展開している。地域の皆様に親しまれる商いを心がけるよう、努めていきたいと考えています。

〈OWNER〉

当女性会に入会して諸先輩の皆さんにいろいろと教えていただきました。また、たくさん経験積ませていただき、大変良かったと感謝しています。業種を超えた皆さんとも友人になり、楽しく活動しています。私の趣味は絵画鑑賞で、夢は国内外の有名な美術館を訪ねることです。

ません」との言葉が印象に残りました。いろいろ学ぶことがあり、大変華やかで実りのある大会でした。有意義な数日を過ごさせていただき、ありがとうございます。〈親睦部会 〇〉

の皆さんが守り育てた60年の歩みを感じ深く話しました。式典終了後は、青山学院大学特別研究員陸上競技部長 距離ブロック監督の原晋氏を招き、「人と組織を強くするビジネス・メソッド」をテーマに記念講演。人と組織の能力を高めるためのリーダーとしての役割など、原監督ご自身の経験をもとに、時には失敗談を織り交ぜながらの講演に参加者は皆、大変感心した様子でした。(総務部会 K)



山陰アシックスを見学する一行

次はお楽しみ、尾高の富田でのお食事でした。心のこもったおもてなしと、目にも舌にも秋を感じさせる素敵な馳走で感激しました。その後、一行は大山寺塔頭・圓流院へ。一時は解体の噂のあったこの院ですが、2009年に再建。とてもきれいなお寺でした。水木しげる先生の描いた108枚の妖怪天井画を仰向けになって拝見しながら説明を受け、大山さんと境港の不思議な縁を感じたひと時でした。(会報部会 A)